

軍第五一大號

兵甲第 一三一號

大正九年八月十六日

第三課

統上 兵海軍人事部長

井出 海軍省軍務局長殿

運輸部本部人員派遣関係件

陸軍運輸部本部へ派遣せらるべき等及氏名本府長官ヨリ大臣宛

電報報告ノ通 十七日 右記ノ通存為念

右通知

特務少尉

新谷 林八

上野 年次郎

二

菅

吉田 義武

軍務局受 8.21

0255

			三	二	二	二	二	二
			菅	水	水	菅	菅	菅
			伊 尾 院 弘 之 印	宗 接 良 之 物	右 慶 次 印	横 田 精 一	三 浦 義 勝	
			(ナ)					

(葉
出
所)

0256

起案郵紙

大正九年八月六日起案

起案者 陸印

八月十一日發付

發付掛 陸印

發付後起 案者陸印

軍務局長

第一課長

第二課長

副官

一次官

局員

人事局長

第一課長

第二課長

艦政局長

第一課長

第二課長

經理局長

第一課長

第二課長

軍令部長

大正九年八月十一日

陸軍大臣

陸軍大臣

陸軍運輸部、海軍將校以下増加配属ノ件

本は付西密第三。六號ヲ以テ照令ノ趣了可來意

官房機密第一。七三號

局部	官房	軍務	人事	艦政	機關	醫務	經理	法務	技木	造兵	教育	臨建	水路	軍倉
受月日	八月十日													
發月日														

經理局 9.8.18 接受

0257

9.8.12

海

ニ選シ海軍將校二名
(兵科) 中尉 特務士官ヲ以テ
ヘシ 下士官四名及兵二名ヲ
増カ配属方 可成計ハ
九回答ス

追テ陸軍部在部 到るニキ
時及配属 志ノ官氏 名ハ子ノ通曉モ
ムヘク

(終)

電報

八月十一日 前十四日

大正九年八月十日

大臣

黒澤ノ長官

其ノヨリ在紀人及ヲ
宇部陸軍運輸部在部ニ
派キ 此同部在勤海軍士
友ノ命ヲ以テ 服務セ
ムヘシ

坂田

0258

持務中少尉ニ、兵曹三、水兵二(以上下士カガシ)、信
号又ハ信号部ノ心付カシ、主計兵曹(常任部号)一、計
 尚書部カガシ、司書カガシ、及共ノ官氏名ヲ
 示シ

(終)

0259

物持	下士	長
1	1	13
2	4	2
3	5	15

明治印刷

0260

陸軍運輸部、海軍將校以下増加配屬ノ件 照會

大正九年八月号

陸軍大臣 田中義一

海軍大臣 加藤友三郎 殿

時局ニ関シテ輸送勤務ニ從事セシムル為大正七年

海軍運輸部、海軍將校一名、下士一名、兵卒十三名

ヲ配屬相成ル處同部ハ今般薩哈噠妙以遣軍ノ

輸送業務ヲ加ヘ従来ノ人員ニテハ任務ノ遂行ヲ期

スル能ハサル狀況ニ有之ル條更ニ海軍將校二名、下

士四名、兵卒二名ヲ増加配屬相成ル様致度異存望

之ヲ以テ可成速ニ字品陸軍運輸部本部、到着ル

様取計相成度及照會ル也

追テ配屬者ノ官氏名通條相成度申添ル

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0262 6701

必

西密第 三號

復員ノ件 通牒

大正十年一月十四日 陸軍大臣男爵田中義

海軍大臣男爵加藤友三郎殿

左記部隊公過般歸還ヲ命セラル大正九年十二月ヨリ大

正十年一月一日ニ亘ル間ニ於テ内地ニ歸著ノ上復員

致候也

左記

第一課

浦潮派遣軍兵站部

同 第一第三第四兵站司令部

臨時鐵道線區司令部

第二陸軍病院

第十三第十六師團輜重監視隊

陸軍

0263

10. 1. 17

陸軍部 西比利

ノト、正ノ機至、長ニ國補教員遺棄、二國首

陸軍部

軍務局

西發第 四一號

陸軍運輸部本部ノ配屬ノ海軍將校

以下ノ期スル件ニ回答

大正 陸軍次官 山梨 半

海軍次官 井出 謙 治 殿

一月十四日附官房第一三九號ヲ以テ照會

相成候首題ノ件別紙ノ通ニ有之候也

第一課長

第二課長

官房第一三九號

陸軍

軍務局受

10. 1. 21

0264

海軍將校以下現在地及任務一覽表

官	氏名	現在勤務地	任 務
海軍少佐	望月鹿太郎	宇品本部	本部に在りて、下等船内運送船ノ指揮監督ニ任シ、回船船輸送ノ實施ニ當リ、本部長ヲ補佐シ、毎リ、自下等船ニ乘組、本部ノ指揮監督ニ任シ、
少特務少尉	鞆谷林八	令	本部に在りて、港内運送船ノ指揮監督ニ任ス
少一等兵曹	田村傑作	令	鞆谷少尉ノ命令受ケ勤務ス
少二等兵曹	木永善次	令	望月少佐ニ隨ヒ、バウカール号ニ乗組、船内ノ信号ヲ掌ル
少一等兵曹計	小川節一	令	配屬海軍將校以下ノ給與事務ニ服ス
水兵	信那兵	令	望月少佐ニ隨ヒ、バウカール号ニ乗組、船内ノ信号ヲ掌ル
水兵	宇信那兵	令	塔内ノ信号ヲ掌ル
水兵	二名	令	運送船三國丸ニ乗組、陸上ノ信号ニ任ス
水兵	二名	令	運送船中華丸ニ乗組、陸上ノ信号ニ任ス

0265

水兵	全三等兵曹	水兵	全三等兵曹	全特務少尉	水兵	全三等兵曹	海軍少佐
掌信脚兵 二名	三浦義勝	掌信脚兵 三名	佐川徳次郎	上野辨次郎	掌信脚兵 二名	平戸新次郎	阪田属三郎
全	門司出張所	全	全	正塔少長所	全	全	浦潮激生所
港内、信掃ヲ掌ル	門司港ニ於テ運送船ト陸上トノ連絡ニ任ス	主トシテ港内ノ信号ヲ掌ル	上野大尉ノ命ヲ受ケ勤務ス	主トシテ要港ニ於ケル港務ヲ掌ル	港内ノ信号ヲ掌ル	浦潮ニ於ケル港内運送船ノ指揮、碎氷整理ノ監督等ニ任ス 最近ハイロハ早敷後、為座米形トナリ又イロハ早敷ニ任ス 指揮監督ニ在リ	浦潮ニ於ケル港内運送船ノ指揮、碎氷整理ノ監督等ニ任ス 最近ハイロハ早敷後、為座米形トナリ又イロハ早敷ニ任ス 指揮監督ニ在リ

0266

大正十年一月十三日起案 起案者 堀 堀
一月十四日發付 發付掛 堀 堀
發付後起 一案者捺印

主務 軍務局長 堀
第一課長 堀
第二課長 堀
局員 堀

大臣 閣

次官 井出 參事官

人事局長 堀
第一課長 堀

大正十年一月十四日 次官

陸軍次官 堀

陸軍運輸部本部、配屬海軍將校以下之關する件
今回ハイカルニ糸組居允陸軍運輸部本部配

官房第一三九號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部	受月日	發月日

屬診玉月海軍少佐ハ如何志任務ヲ以テ勤務ニツツ
アリレモノマ候哉前通上必復付承_承系_承致度尚海軍將校以下ニヒテ
同本部マ附属セラルモノノ現任務及所在地参考
為承知致度候存云急御回報ヲ得度
右照會ス

(終)

西此利也

起案罪紙

大正十年九月二十日起案

起案者 捺印

捺印

九月廿八日發付

發付掛 捺印

小號

發付後起 捺印

起案罪紙(甲)

(七) 軍務局長 大南

第一課長

大臣(免)

副官

局員

次官

參事官

人事局

第一部長

局員

軍令部

次長

副官

班官

大正十年九月二十八日

次官

號番

官房機密第三八號

陸軍次官 薩哈連州撤退軍司令部附海軍武官件

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦隊	人事	軍務	官房	局部
											11.9.20		11.9.20	受月日 發月日

0269

紙箋附

十月九日

海軍武官件

次官



軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	監人	軍務	官房	局部
										11.9.20			受月日
													後月日

11.9.20
課

發付掛
除印
小壁
發付後起
案書捺印

呈案野紙(甲)

0269

紙箋附

十月九日歸部命令發布済

大正七年九月廿七日

海軍軍令部第一班

薩哈連軍司令部 参考簿中
陸軍方 何毛 陸軍部

(肉富)

0270

首級、海軍、武友、今後、情況、於、存置、ノ、必、中、
 最近ノ時期、於、之、廢、シ、キ、意、向、有、之、候、知、
 言、致、ス、裁、一、志、情、高、見、承、為、致、度、
 左、照、令、与、ス、
 (3)

洋

旨

0271

供覽

陸軍省 第八五七號

軍務局長 大藏

第一課長

第一課長

局員

局員

海軍

11. 軍務
11. 軍務

11.11.4
課一

大正十一年十一月六日

發付済

軍務局長

陸軍省 陸軍局長

陸軍省運輸本部 陸軍省 陸軍省

本件：同レ大臣ノ貴府長官ニ
有之候知此條右人負ラレ記ノ通
更更之派速服
ルレシニ
コトト相成候事請了知上可然

中支附一名

本件 皇一必小号第 (号、考行号三)

右條令下申進ス

(富井納)

0272

海軍 模造中葉十三行罫紙

明治二十一年十一月六日 發付濟

軍務局長

陸軍運輸本部 滋速員件

本件：同大臣貴府長官品既列令、以了之

有之候、此際右滋速員、^{品既} 檢^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了

特務士官一及下士官一各四名、滋速員^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了

廢止、^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了、上可^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了

有^{品既} 候、^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了

有^{品既} 候、^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了

有^{品既} 候、^{品既} 申^{品既} 付^{品既} 了

三

軍務局長 八〇〇〇號 三

(宮井納)

6273

派遣員一覽

年月日	士官	臨時隊	特選	下士	兵	備考
7-8-3	横 3	横		3	7	
7		兵		1	46	
7-9-3	1			1	13	培カ
8-12-5	2	横		1	7	培カ
9-8-4		兵	2	4	2	培
計(全)		兵	1	1	4	

0274

人事局

軍務局

軍令陸乙第

號

時局ニ關スル業務ニ從事セシムル爲諸部隊定員外トシテ別
表ノ人員ヲ增加配屬スルコトヲ得

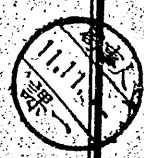
附則

大正七年軍令陸乙第三十八號諸部隊定員外人馬增加配屬ノ
件ハ之ヲ廢止ス

第一課長

第一課

局員



0275

Handwritten notes in Japanese, including the date '二十五年' (25th year of the era) and other illegible characters.

諸部隊定員外人員一覽表

階級	配屬部隊	陸軍運輸部本部	廣島陸軍被服支廠	宇品陸軍糧秣支廠	計
		一	二	三	
佐官		三			三
尉官		五			五
下士		一四			一四
主計		二			二
計手		三			三
看護長		二			二
看護卒		六			六
獸醫		一	一		二
蹄鐵工長		一	一		二
海軍將校		一			一
海軍下士		一			一
海軍兵卒		四			四
通譯		一			一
計		四四	二	二	四六

備考

- 一 廣島陸軍被服支廠獸醫ケ一、蹄鐵工長ケ一ハ陸軍運輸部本部附獸醫及蹄鐵工長ノ兼勤トス
- 二 陸軍運輸部本部ハ通信省官吏若干名ヲ囑託トシテ配屬スルコトヲ得
- 三 海軍將校ハ兵科特務士官ヲ以テ充ツルコトヲ得

0277

寫

電報譯

十月廿三日 午前

時

分着

人事局長宛

奉信者 陸軍運輸部本部長

運第九八七

大正七年軍令陸乙第三八号改正に伴ヒ他へ轉出セシムヘキ將校

通訳(中略)海軍少佐高橋直治、通訳谷村清兵衛、

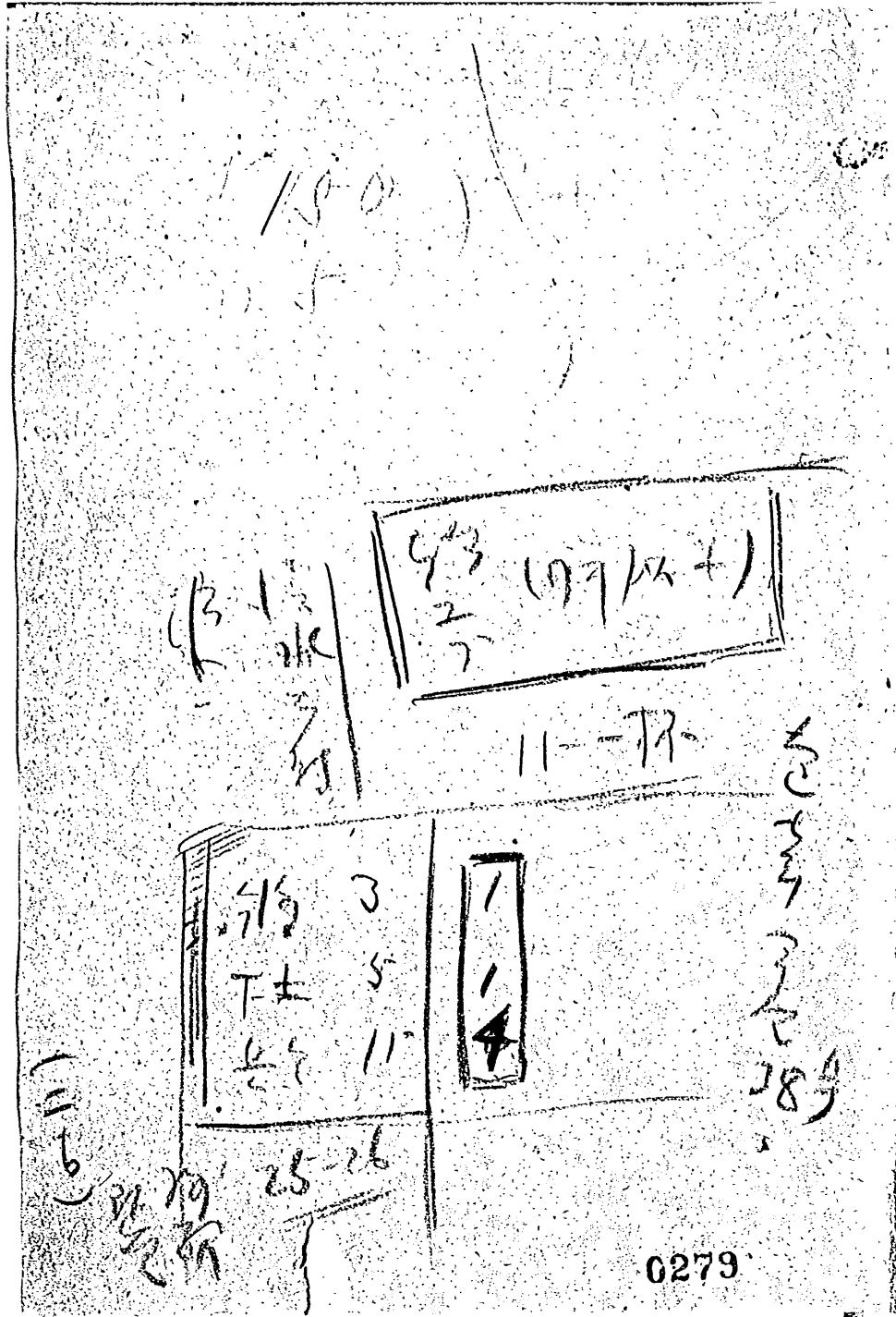
(中略)大演習參加ノ關係上石田大尉、前原大尉、沖大尉、

高橋海軍少佐、轉出奉表ハ演習後ニ行フコトニ配慮^慮ア

リタシヨ(下略)

陸軍

0278



起案郵紙

極

大正十二年四月十九日起案

起案者 捺印

四月廿一日發付

發付掛 捺印

起案郵紙甲

(之) 事務局長

少佐

第一課長

局員

局長

局長

局長

大臣院

副官

藤田

藤田

藤田

藤田

藤田

藤田

藤田

藤田

次官

參事官

岩村

岩村

岩村

岩村

岩村

岩村

岩村

岩村

先令部

次長

第一班

第一班

第一班

第一班

第一班

第一班

第一班

第一班

大正十二年四月五日

各鎮長官

第三師隊長官

大原司令官

連(右通)宛

次官

薩哈噠州派中退軍主力交代件

號番

官房機密第五五五號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	濫政	人事	軍務	官房	局、部	受月日	發月日
四二〇																
四二〇																

G280

本件ニ関シ別紙一通薩哈連州派遣主力交代命令ヲ
傳宣ノ上ハ阿合參謀總長ヨリ通牒布ユク
右通牒入

別紙一葉係

「阿合參謀總長」

編第三十六號

第七師團ニ於テ薩哈噠步兵第一大隊第八師團ニ
於テ薩哈噠步兵第二大隊同工兵中隊ノ編成ヲ
令セラル編成第一日ハ四月十八日ナリ

大正十二年四月十六日午前十時

第一課長

陸軍大臣 山梨 半造

海軍大臣 男爵 加藤 友三郎 殿

陸軍

0282

秘

陸軍省 西密第 六四 號

諸部隊定員外ノ人員ニ關スル件通牒

大正拾貳年十月拾參日 陸軍次官 宇垣 一成

海軍火官 岡田 啓介 殿

軍務局

首題ノ件ニ關シ十二月一日官房機密第一三一六號ノ三通牒ノ趣了承
知爲殘直セル兵二名モ近ク復却可致候條承知相成度候也

軍務局 西密第 六四 號

官房機密第一三一六號 下

陸軍

0283

起案郵紙

大正十二年十一月十六日起案

起案者 捺印

十升

日發付 發付掛 捺印

發付後起 案者捺印

起案郵紙甲

(主務) 軍務局長 第一課長

大臣

副官

藤田

次官

參事官

人事局長

第一課長

局員

乾 濟

次長

長 第一班

小救

和

和

美

大正十二年十一月

日

次友

陸軍次友

請新隊定員外人員之件

首題ノ件ニ関シ西密第六一號即四五ニ趣リ采問係也

號番

官房機密第一三六號ノ三

京

官

局部	受月日	發月日
官房	十一月	
軍務		
人事		
艦政		
機關		
醫務		
經理		
法務		
技本		
造兵		
教育		
臨建		
水路		
軍金	十二月十九日	二日

0284

軍人等ハ其ノ部表ニシテ
 綴退ノ上ハ關係軍令(右ノ上ノ旨)ハ以テ之ク之ノ様即取
 付(其ノ旨)ハ其ノ部表ニシテ
 右ノ中ニシテ

五月十日陸軍省(内務省)ニシテ
 一階以テ之ク之旨(其ノ旨)ハ其ノ部表ニシテ
 其ノ旨(其ノ旨)ハ其ノ部表ニシテ



(報文社印)

0285

七〇五號

海軍

模造半葉十三行野紙

十二月廿四日

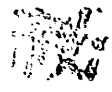
大正十五年十一月一日 軍務一課長
貴人子部長宛

宇部海軍事務所以下に送付

貴人探密部第一二三號即照會未付の陸軍に送付せられたる
止り置かれたるもの付 便賞 引續き本署に送付せしめしむる
陸軍及び海軍に送付せられたるもの付 送付せしめしむる
止り置かれたるもの付 引續き本署に送付せしめしむる
希望の如く 貴人子部長宛に送付せしめしむる
大田倉人

(富井樹)

G286



軍務局

人事局

陸軍部第六一八號

諸部隊定員外ノ人員ニ關スル件回答

大正拾貳年七月拾四日

陸軍次官 宇垣一成

海軍次官 岡田啓介殿

首題ノ件ニ關シ九月廿七日官房機密第一三一六號照會ノ趣異存無之

候也

退テ海軍兵二名ハ引継ノ都合上當分殘置致慶尙現奉在ノ配置及任
務ノ大要左記ノ如クニ有之候

左記

一、配置

亞港 下士官、兵、各一

官房機密第一三一六號



局長 受

0237

小樽	兵 一	
汽船花咲丸	兵 一	
汽船宗像丸	兵 一	
但シ冬期宗像丸休航ノ際ハ亞港		
二、任務ノ大要		
將 校		
1、港務部及輸送業務ノ一部擔任		
2、港内浮標設置撤收ノ指導		
3、小蒸汽船員及下士卒ノ教育		
4、海軍下士官及兵ノ人事		
下士官		

陸 軍

0288

起案郵紙

大正五年九月二十日起案

起案者 田中

九月十七日發付

發付者 田中

發付後起案者 田中

發付後起案者 田中

發付後起案者 田中

(義務) 軍務局長

第一課長

大田

副官 藤田

局長

田中

次官 參事官

人事局長

田中

第一課長

田中

局員

田中

軍令部長

次長

田中

第二班

小牧

大正五年九月廿日

陸軍次友

請部外人員之函件

大正五年八月十日

號番

官房機密第三二號

五

五

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	總收	人事	軍務	官房	局部
大正五年九月廿日														受月日 發月日

12.9.20 課

6290

九月

員外上ノ人員増加配属ノ件被之當海軍ノ陸軍運
輸部本部附上ノ將校一人、下士官一人及兵四人ヲ派遣セシメテ
所ノ更上ニ海軍人員ハ四國ノ情况ニ鑑ミ最近ノ時機ニ於テ
停止ヲ要ス向ニ有之ルニ付ハ海軍所長ニ或一應ヲ要ス
見系ナカラス
亦現狀ニ於テ既置任務等係セテ海回報ヲ得ヌ
大照会アリ

(項)

大正十二年九月十二日

小山田兵海軍人車部長

左近司海軍省軍務局第一課長殿

宇品派遣特務士官以下三南スル件

十年五月六日貴局長ヨリ軍務局長表第八五四號ヨリ陸軍
運輸部ニ特務中少尉一名兵曹一名水兵四名派遣服務
セシナラレ度旨當府參謀長宛依命申進ニ依リ引續キ派
遣中ノ處特務士官以下人員不足ノ折柄殊ニ特科ノ希望
有之由係上他ヨリ差繰リ辛クシテ配員ニ居ル現状ニテ

海軍

田原港出張中ノ相田特務少尉ノ如キハ妻子重能ニテ看護
帰省ヲ願出タル處戰地同様ノ勤務ニテ之ヲ許サレタル爲
無據他人ト交ハセシメサルヘカラサルコトニ相成配員ト多ク困
難ヲ感シタル義モ有之候要スルニ將來永ク之ヲ存置セラ
ルコトハ甚々苦痛トスレ次第ニ付當村在籍者配員ノ
コトハ此ノ際可成至急取止メ相成様御配慮ヲ得ルカ
右照會ス

(終)

以下ノモノヲ掃察ニ付二回補綴海軍簿ニ取付二

運海才九〇号ノ二

大正十一年十一月二日

陸軍運輸部本部配属海軍士官

藤田海軍省副官殿

配属士官交代ノ件

從來當部配属トシテ高橋海軍少佐宇品ニ

在勤中ノ慶今般配属ヲ免セラレ候ニ就テハ

將來當部海軍士官宛ノ交渉ハ左記ノ者

相當致候条御了知相成度

右通知ス

軍令部

海軍特務少尉久村保次郎

(終)

陸軍

0294